

令和5年度 年間授業計画

東京都立豊島高等学校

科目	化学基礎	2単位
対象	3学年選択者	
教科書	改訂 高等学校 化学基礎 (第一学習社)	
副教材	つかむ化学基礎 (浜島書店) フォトサイエンス化学図録 (数研出版)	

教科担当者

目標	1学年時に残した電池、電気分解を終わらせた後、有機化学、無機化学(典型元素・遷移元素)、反応熱を行い、入試範囲の解説を済ませる。その後、演習、実験に力を入れ化学基礎の基本事項の定着と応用力の育成を図っていく。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	留意点
1 学 期	4	26	酸化剤還元剤と 金属のイオン化傾向 電池と電気分解、ファラデーの法則	<ul style="list-style-type: none"> 酸化剤、還元剤の定義と半反応式紹介 イオン化傾向の説明とイオン化列の紹介 電池の原理 ダニエル電池、蓄電池 電気分解の原理 ファラデーの法則による量関係の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 酸化剤、還元剤の半反応式の演習を十分行う。 酸化還元反応式を作り、量関係についての計算問題を行う。 イオン化列を覚えさせ、水溶液との反応を学ばせる。 ダニエル電池を中心に電池の原理を理解させる。 電気分解の基本原理をよく理解させる。 ファラデーの法則は、演習で身に付けさせていく。
	5			酸・塩基の反応	<ul style="list-style-type: none"> 酸塩基の定義 中和の量的関係 中和滴定実験
	6		共通テスト演習 (実戦形式)		<ul style="list-style-type: none"> 前半で過去問、予想問題演習(30分) 後半→自己採点、解説 化学基礎全般の復習 難易度の高い問題の追加演習
	7			共通テスト演習 (実戦形式)	<ul style="list-style-type: none"> 前半で過去問、予想問題演習(30分) 後半→自己採点、解説 化学基礎全般の復習 難易度の高い問題の追加演習
2 学 期	9	28	センター演習	<ul style="list-style-type: none"> センター過去問、模擬問題を用いて演習を行う。 	
	10				
	11				
3 学 期	1	12			
	2				
	3				
評 価	(観点・方法) 定期考査の得点と、課題提出を得点化して評価を行う。 評価に際しては、学習内容の定着度、応用力、実験観察力、思考力と文章表現力を参考にする。				